



トレイルメンテナンスの最前線を牽引する
リーダーたちが集結!



基調講演

Sarah Adams

Appalachian Trail Conservancy(ATC)
南部地域マネージャー(ジョージア~ナンタハラ担当)
A.T. Community Coordinator として
2020年より ATC に関り、North Georgia
AT Community Networkの設立にも貢献。
大学時代には信越トレイルとアパラチアン
トレイルの繋がりについて調査を行い、卒業論文「Jappalachia」を執筆。故加藤則芳氏と深い親交を持つ。



パネリスト/ワークショップ講師

Matt Drury

Appalachian Trail Conservancy(ATC)
サイエンス & スチュワードシップ副部長
アパラチアントレイル沿線の植生と森林の生態
管理を行い、希少植物とフェノロジー(生物季節)
をモニタリング。またタスク遂行のためボランティア
アやパートナー団体を幅広く訓練・指導。土地
管理や復元生態学、林業等の多彩な分野にお
いて全米や南太平洋(バヌアツ)の政府機関、
民間団体、非営利団体と関わる環境学修士。



パネリスト/ワークショップ講師

岡崎 哲三

一般社団法人大雪山・山守隊、
合同会社北海道山岳整備代表
大雪山国立公園で、総延長 300km に亘る
登山道の維持管理を民官学協働で行う。故
福留脩文に師事し、自然生態系の復元をコ
ンセプトとする「近自然工法」を登山道整
備に取り入れて実践、また全国各地でその
ノウハウを指導。



パネリスト

伊藤 圭

三俣山荘事務所、三俣山荘・水晶小屋経営者、
一般社団法人ネオアルプス代表
24歳で継いだ北アルプス黒部源流の山小
屋を切り盛りしながら、今年8月に再開通
した伊藤新道の復活に係る取り組みを率い
ると共に、大町市の「山と人と街をつなぐ
プロジェクト」を指揮。父は「黒部の山賊」
著者・伊藤正一。



パネリスト

木村 宏

NPO 法人信越トレイルクラブ 代表理事
リゾート開発業者の勤務を経て長野県に移住、
自ら宿泊施設の運営を経て飯山市のグリー
ンツーリズム事業に参画し、観光施設の運
営や地域づくり活動に従事。2000年国土
交通省の事業をきっかけに信越トレイルの構
想、企画、整備、運営に関わる。NPO 法人日
本ロングトレイル協会の常務理事として各
地のロングトレイルの普及活動にも携わる。



ファシリテーター

三浦 務

一般社団法人コンサベーション・
アライアンス・ジャパン 代表理事
ゴールドウィン勤務時代から CAJ に携わり
自然環境基金の運営や気候危機アクショ
ンに取り組む。ウルトラトレイル・マウン
トフジ (UTMF) などトレイルラン大会のプ
ロデュースを経て現在は独立し、富士山麓
の登山道整備などの NPO 活動にも従事。

参加申し込みは専用フォームから→

申込期限: 2023年11月10日(金) 18:00



イベント告知ページはこちら→

(信越トレイル公式 HP)



イベントに関するお問い合わせ先

NPO 法人信越トレイルクラブ事務局

〒389-2601 長野県飯山市照岡 1571-15
office@s-trail.net



**SHINETSU
TRAIL CLUB**
信越トレイルクラブ



このイベントは、公益社団法人国土緑化推進機構による「緑と水の森林ファンド」および一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパンによる「アウトドア環境保護基金」の助成を受けて実施します。



セッション

2023年 **11/17(金)** 14:00~19:30

@ 飯山市文化交流館 なちゅら

ワーク

2023年 **11/18(土)** 9:00~16:00

@ なべくら高原・森の家

参加費: 無料*

※ 1日目の交流・意見交換会は 4,000円/1名申し受けます

※ 2日目のお弁当手配は 1,500円/1名申し受けます

日本国内には数えきれないほど多くの登山道や自然歩道が存在します。また近年は、歩く旅を楽しむための「ロングトレイル」が各地に整備されるようになり、国内外から訪れる多くの人々に親しまれています。これらの道は、それぞれの地域や団体によって維持管理されていますが、自然環境への負荷、次世代の担い手不足や資金調達、整備ノウハウや技術者の不足等、様々な課題にも直面しています。コロナ禍を経てアウトドア活動に親しむ人が増加し、自然志向や環境問題に対する意識が高まりつつある昨今、トレイル/登山道利用者がハイキングや山登りを楽しむことに加え、その道の整備活動についても関心を向ける傾向が国内でも見られるようになってきました。そこで、国内外からトレイル(自然歩道)の整備に造詣の深い有識者を招き、整備活動経験者や一般参加者を交え、持続可能なトレイルメンテナンスについて皆で一緒に考えるためのシンポジウムを開催します。



主催: NPO 法人信越トレイルクラブ

後援: 環境省信越自然環境事務所、長野県中部森林管理局、長野県東森林管理局、長野県、新潟県、一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン、Leave No Trace Japan、株式会社ゴールドウィン、THE NORTH FACE、KEEN、eno、Miir、YAMAP、日本トレッキング協会、日本ロングトレイル協会、信濃毎日新聞社、新潟日報社、信越トレイル連絡会



セッションの日

2023年 **11/17(金)** 14:00~19:30
@ 飯山市文化交流館 なちゅら 長野県飯山市大字飯山 1370-1

基調講演
14:30^{※1}~15:30

100年続くトレイルが未来にもたらずもの Sarah Adams

世界的人気を誇り 100 年以上の歴史を持つ、米国アパラチアントレイル =AT。3500km におよぶロングトレイルをいかに維持管理し、次世代へどう紡ぐのか。AT の統括本部である Appalachian Trail Conservancy(ATC) から、故加藤則芳氏との縁も深い Adams 氏を招き、国や企業との連携や沿線地域との関わり方等、ATC の活動事例を交えながらお話いただきます。



活動紹介
15:30~15:50

信越トレイルクラブの取り組み 信越トレイルクラブ事務局



自然環境の保全と利用の両立を理念に掲げて、2004 年より活動がスタートした信越トレイル。現在もお、多くのボランティアの方々によるトレイルメンテナンスが行われています。その 20 年にわたる取り組みについて、信越トレイルクラブ事務局が紹介します。

パネルディスカッション
16:00~17:30

今求められる トレイルメンテナンスの在り方とは？ Matt Drury / 岡崎 哲三 / 伊藤 圭 / 木村 宏 / 三浦 務

持続可能かつ環境負荷のより少ないトレイル整備とは？一般参加者が積極的に関わるトレイル整備とは？各地で活動を牽引するリーダーたちが、それぞれの道の維持管理において抱える課題やその解決策、また今後の展望について、多角的に、赤裸々に議論。日本のトレイルメンテナンスのこれからに光を当てます。

交流・意見交換会
17:45~19:30^{※2}

Link together

参加費：4,000 円 / 1 名

登壇者・整備関連団体関係者・各自治体関係者・一般参加者が一堂に会し、持続可能なトレイル / 登山道整備について関連な意見交換を行う場として、また国内のトレイル / 登山道整備関連団体同士の交流・ネットワーキングを促進することを目的とした、立食形式の交流会です。

※1 当シンポジウムに先がけ、Appalachian Trail Conservancy と信越トレイルクラブの友好締結セレモニーを基調講演の前に行います。
※2 交流・意見交換会後の宿泊について…なべくら高原・森の家にお泊りをご希望の方は、申し込み専用フォームのご案内をご確認ください。

ワークの日

2023年 **11/18(土)** 9:00~16:00
@ なべくら高原・森の家 長野県飯山市照岡 1571-15



午前の部
ワークショップ
9:00~12:30

トレイルを未来へどう渡すか -メンテナンス技術の考察

お弁当手配ご希望の場合は
1,500 円 / 1 名 (要予約)

ATC の Matt Drury 氏と、大雪山・山守隊の岡崎哲三氏によるイントロダクション。トレイル / 登山道の現場に見る課題とそれを解決するメンテナンス技術や手法について、自然環境の利用と保全の観点から、日米両国のエキスパートお二人に事例紹介をいただきます。講話の後はフィールドでの路体観察を含めたワークショップ※を行い、トレイル / 登山道を持続可能な形で次世代へ引き継ぐためのメンテナンス技術について、皆で一緒に考えます。
※天候等の条件により、室内での実施となる場合があります。

午後の部
フィールドワーク
13:30~16:00

長距離ハイイクで欠かせない 山トイレテクニック by LNTJ



ロングトレイルを歩くときに誰もが直面する「山でのトイレ」。自然にできるだけ負荷を与えずに用を足す方法を学びながら、自然環境の保全を考えます。
※このフィールドワークは Leave No Trace Japan 主催の「ホットスポットプログラム」として実施します。

アクセス

- 飯山駅まで 東京から北陸新幹線で約 100 分 / 金沢から北陸新幹線で約 75 分
 - なちゅらまで ... 飯山駅から徒歩 5 分
 - 森の家まで 公共交通機関利用 飯山駅から JR 飯山線で戸狩野沢温泉駅まで 20 分 → タクシーで約 20 分^{※3}
- マイカー利用 上信越道 豊田飯山 IC から国道 117 号経由で約 40 分



※3 なべくら高原・森の家発着の送迎について…ご希望の方は、申し込み専用フォームのご案内をご確認ください。